

サブドレン他水処理施設の運用状況等

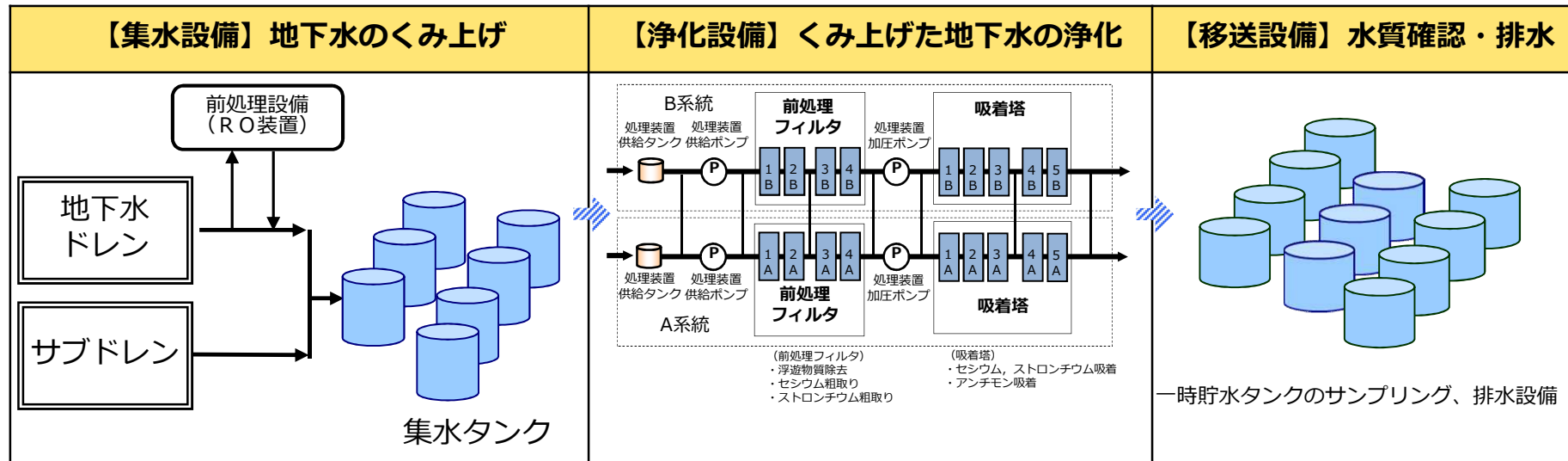
2021年2月25日



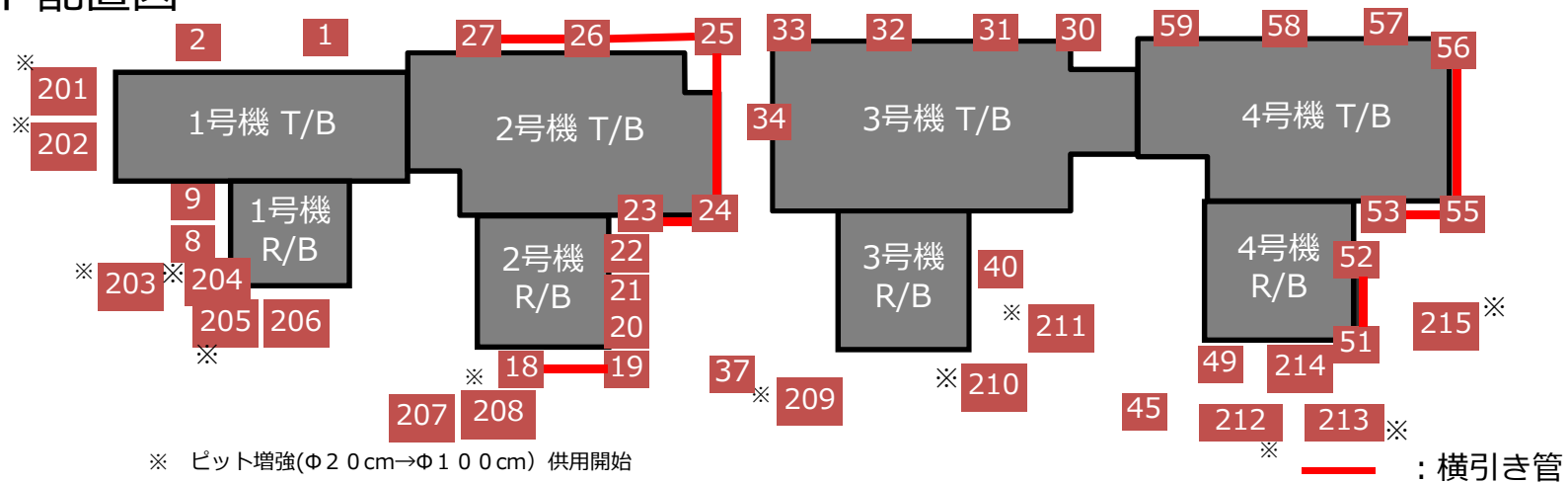
東京電力ホールディングス株式会社

1-1. サブドレン他水処理施設の概要

・設備構成



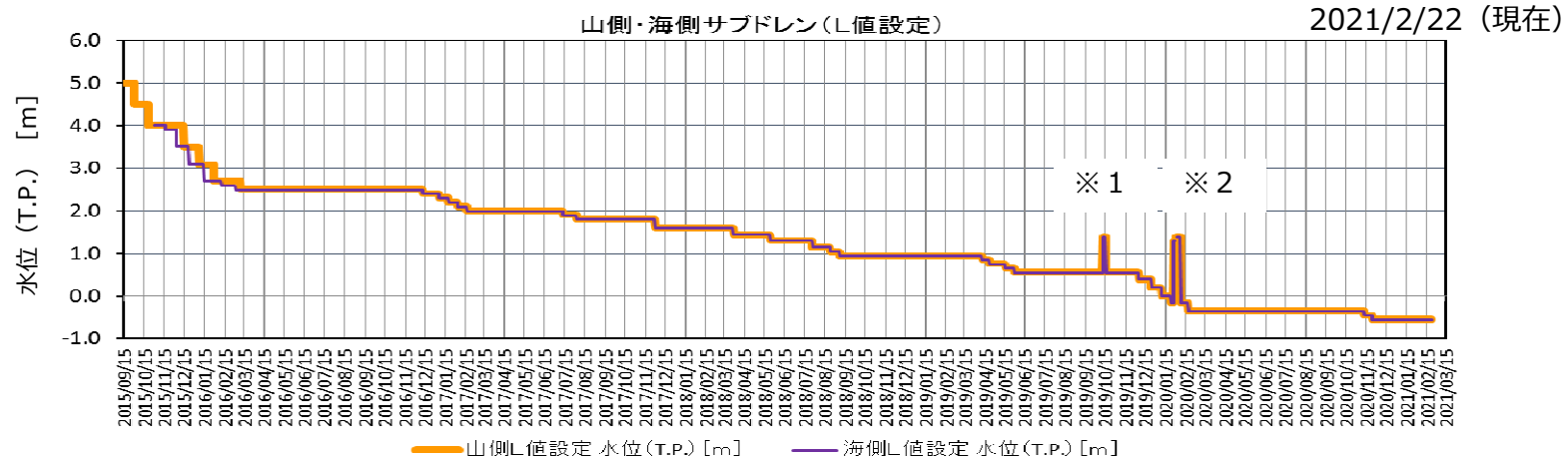
・ピット配置図



1-2. サブドレンの運転状況（24時間運転）

- 山側サブドレン設定水位のL値をT.P.+5,064mm から稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年 9月17日～、 L 値設定：2020年11月24日～ T.P.-550mmで稼働中。
- 海側サブドレンL値をT.P. +4,064mm から稼働し、段階的にL値の低下を実施。
実施期間：2015年10月30日～、 L 値設定：2020年11月24日～ T.P.-550mmで稼働中。
- サブドレンピットNo.30,37,57を復旧し、2018年12月26日より運転開始。No.49ピットは復旧後、2020年10月9日より運転開始。
- サブドレン集水設備No.4中継タンク内の油分確認により、No.4中継サブドレンピットは現在停止中
 - ・ 11/26 No.4中継タンクの水位計異常に伴い、No.4中継サブドレンピットを停止
 - ・ 12/1 水位計を交換後、No.4中継サブドレンピットの運転を再開
 - ・ 12/2 No.4中継タンク内に油分が確認されたため、No.4中継サブドレンピットを停止
 - ・ '21/1末 No.4中継タンク内の油回収及び清掃を実施し、No.4中継サブドレンピット（8箇所）のうち、油分が確認されたNo.40及び近隣のピット210,211以外の5ピットの稼働を再開
(No.51、No.212において、水位の低下が確認されないため、移送配管確認中)
 - ・ 今後、No.40ピットの油分を回収（3月開始予定）し、近隣のピット210,211を含めた運転再開を目指していく。
- その他トピックス

21年2月13日の地震（震度6弱）により、サブドレンピットを全停止したが、2月14日PMより順次、稼働を再開していき、2月15日AM中に地震前に稼働していたピットによるくみ上げを再開。



※1 台風19号対応として10月12～15日の間、一時的に全ピットのL値をT.P.1400mmに変更した。

※2 1月の大雨に備えて基本のL値をT.P.1300mmとし、2月7日に水位設定値を元に戻した（L値:T.P.-0.15 mm）

1-3. 至近の排水実績

- サブドレン他水処理設備においては、2015年9月14日に排水を開始し、2021年2月21日までに1,493回目の排水を完了。
- 一時貯水タンクの水質はいずれも運用目標（Cs134=1, Cs137=1, 全β=3, H3=1,500(Bq/L)）を満足している。

排水日		2/10	2/12	2/16	2/17	2/18
一時貯水タンクNo.		D	F	B	G	D
浄化後の水質 (Bq/L)	試料採取日	2/5	2/7	2/10	2/11	2/13
	Cs-134	ND(0.76)	ND(0.45)	ND(0.67)	ND(0.82)	ND(0.72)
	Cs-137	ND(0.60)	ND(0.60)	ND(0.65)	ND(0.60)	ND(0.54)
	全β	ND(1.8)	ND(2.0)	ND(0.63)	ND(2.0)	ND(1.9)
	H-3	1000	1000	1000	1100	1000
排水量 (m ³)		306	386	303	417	424
浄化前の水質 (Bq/L)	試料採取日	2/3	2/5	2/7	2/9	2/11
	Cs-134	ND(4.6)	ND(5.0)	ND(4.7)	ND(7.2)	ND(7.9)
	Cs-137	77	66	60	74	78
	全β	—	—	—	620	—
	H-3	1100	1100	1100	1200	1100

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を1 Bq/Lに下げて実施。

* 浄化前水質における全ベータ分析については、浄化設備の浄化性能把握のため週一回サンプリングを実施。